

**製品名: IRF7 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02793**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 54 kDa; Observed MW: 54 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IRF7
別名	IRF7; Interferon regulatory factor 7; IRF-7; IRF7A; IRF-7H
遺伝子 ID	3665
SwissProt ID	Q92985
免疫原	ヒト IRF7 の合成ペプチド

**背景**

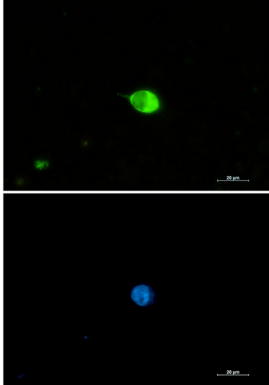
EBV 核抗原 1a (EBNA1) の Q プロモーター (Qp) に結合し、EBV 潜伏期の制御に関与する可能性がある。マクロファージにおいて

異なる遺伝子発現プログラムを活性化し、初代マクロファージの抗腫瘍特性を制御することができる。

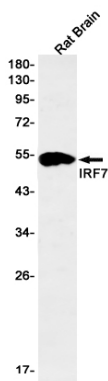
## 研究分野

免疫学

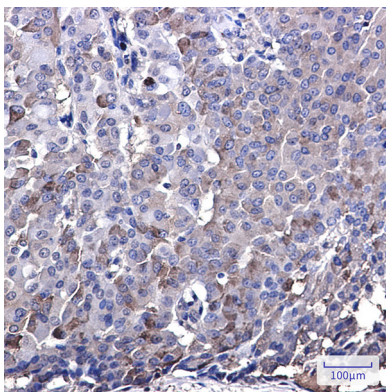
## 画像データ



IRF7 抗体と DAPI (青) を使用した 293 の IRF7 (緑) の免疫細胞化学分析。



IRF7 抗体を使用したラット脳溶解物中の IRF7 のウエスタンブロット分析。



IRF7 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。